

■背景、目的

- 人口減少・高齢化の進展により、国土の管理水準の低下やそれによる悪影響の発生等が課題となる中、人口減少・高齢化を前提とした適切な国土管理が必要となっている。
- これに対応するため、国土交通省では、令和3年6月に「国土の管理構想」を策定し、市町村や地域において現状把握と将来予測をもとに、国土管理の在り方を検討・整理する「市町村管理構想」「地域管理構想」の策定を推進することとした。人口減少下では、全ての土地についてこれまでと同様に労力や費用を投下し管理することは困難であることから、市町村・地域において管理構想に取り組むことで優先的に維持したい土地を明確化し、管理方法の転換や管理の縮小も含めた利用・管理の方法を検討することが重要である。
- 適切な国土管理の展開に向け、市町村・地域における管理構想の事例を創出するとともに、その検討・策定・管理の実施に係る知見を蓄積し、実践的かつ具体的なかたちで広く普及を図っていくことを目的とする。

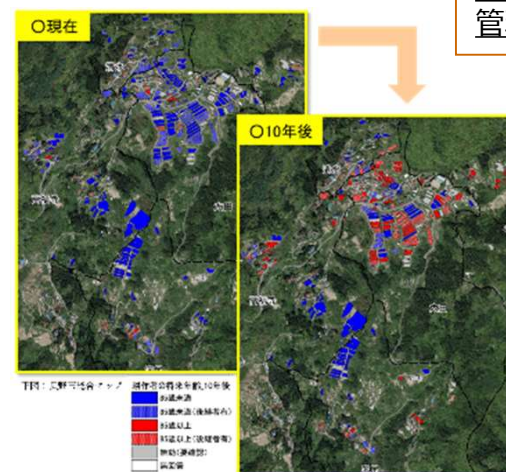
■調査内容

- 市町村管理構想・地域管理構想の検討・策定のモデル形成調査を実施。「国土の管理構想」で整理した考え方にに基づき、基礎情報の収集・分析・整理や、市町村職員や地域住民、関係者等による話し合い(ワークショップ等)による管理構想の検討を実施(1~2年程度での策定を想定)
- 市町村管理構想・地域管理構想に取り組むべき地域の分析に資する指標となる情報の整理や、取組の実行段階に活用可能な各種事業等の情報等の整理・更新を行い、市町村・地域等に対して提供する。
- モデル形成調査から得られた、取組効果や策定プロセスにおける工夫等を分かりやすく整理し、必要に応じたマニュアル(R3年度作成予定)の改訂等も含めて、市町村・地域等に情報提供する。
- 実施に当たって、適宜、有識者によるアドバイザー会合等を設置し、上記の取組に対する助言を受ける。必要に応じて、モデル形成調査実施地域でアドバイザーを招聘する。

ワークショップの実施



地域管理構想図の作成
(国土管理の取組の優先度の明確化)



手のかからない方法で管理

地域として貴重な棚田は積極的に維持

将来的には人手をかけない

現況図及び将来予想図の作成